

# 〔講演記録〕

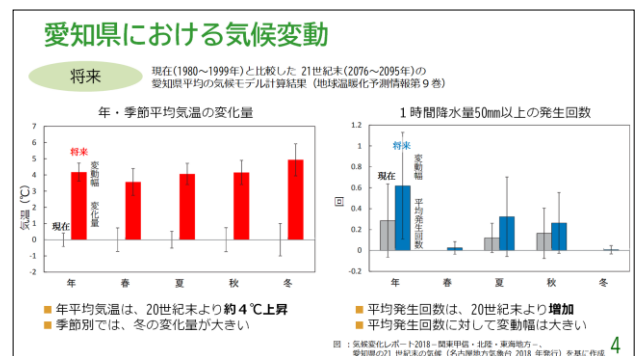
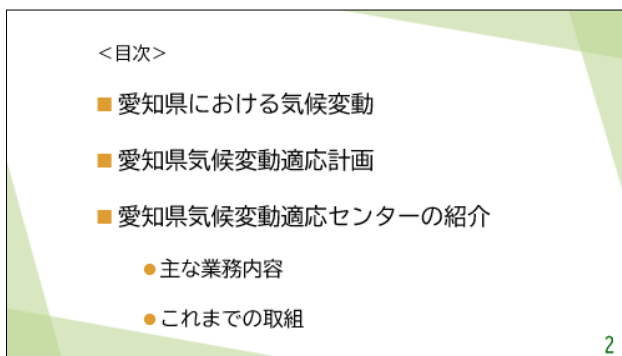
## 愛知県気候変動適応センターの取組

愛知県環境調査センター 企画情報部長

(気候変動適応センター センター長) 澤田 和孝

愛知県気候変動適応センターの澤田と申します。よろしくお願いたします。

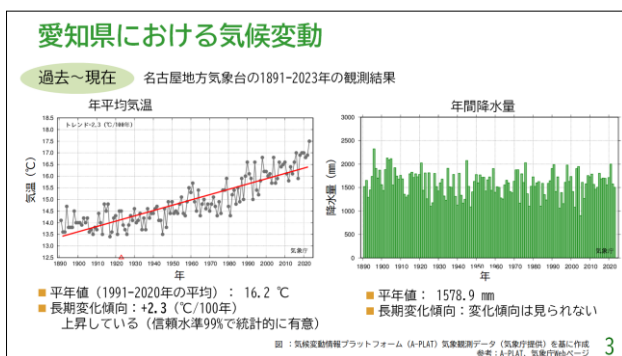
国的にみますと短時間の大雨が増加傾向にあるといふことです。



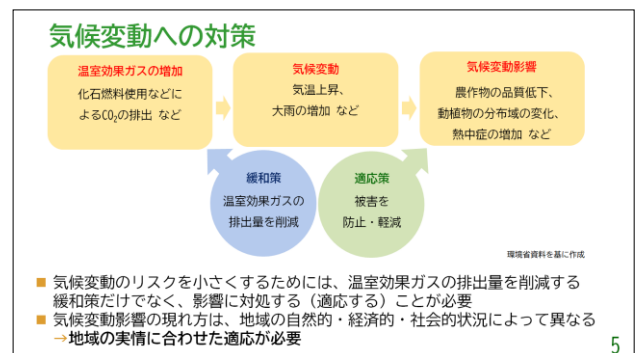
私からは愛知県気候変動適応センターの紹介をさせていただきます。愛知県における気候変動、それから、県の気候変動適応計画、県の適応センターの紹介という順番でご説明をさせていただきます。

次に、将来の気候についてです。左のグラフは平均気温の変化を季節別に予測したものです。どの季節も気温は上昇し、21世紀末には20世紀末よりも気温は4℃ほど上昇するという結果が示されています。右側のグラフは、1時間に50mm以上の大雨の発生回数の変化を季節別に予測したものです。年によるばらつきが大きいものの、21世紀末には20世紀末と比べて大雨の回数は2倍以上に増加すると予測されています。

### 愛知県における気候変動



まず、愛知県における気候変動についてです。スライド左側のグラフは名古屋地方気象台の年平均気温の経年変化を示したものです。名古屋市を見ますと、100年につき2.3℃の上昇ということです。次にスライドの右側のグラフですけれども、名古屋地方気象台の年別の年間降水量を示したものです。降水量については名古屋だけでは経年的な変化の傾向は見られないということですが、気象庁によりますと、全



気候変動が進行し、平均気温が上昇したり、大雨が増加したりしますと、農作物の品質低下であったり、熱中症の増加、水害発生可能性の上昇など、様々な影響が現れると想定されます。このため、気候変動の進行そのものを遅らせるために温室効果ガスの排出量の削減等を行う「緩和策」と、気候変動の発生に伴う

被害を防止したり、軽減したりする「適応策」の両方を実施していく必要があります。気候変動の影響の現われ方は地域の自然的、社会的、経済的な状況により異なりますので、地域の実情にあわせた適応策をとる必要があります。

## 愛知県気候変動適応計画



**愛知県気候変動適応計画**

- 2018年12月 気候変動適応法施行
- 2019年2月 「あいち地球温暖化防止戦略2030」の一部を同法12条に基づく愛知県気候変動適応計画として位置付け
- 2019年3月 同法13条に基づく地域気候変動適応センターを環境調査センター企画情報部内に設置
- 2020年7月 あいち地球温暖化防止戦略 2030 の別冊として愛知県気候変動適応計画を策定
- 2022年12月 適応計画を改定（計画期間：2030年度まで）

**愛知県気候変動適応推進方針**

- あらゆる施策に気候変動適応を組み込む
- 地域の実情に応じた適応策の推進
- 県民、事業者等の理解を深め、各主体に応じた適応策を推進
- 科学的知見に基づく適応策の推進

**気候変動影響7分野**

- 農業・林業・水産業
- 水環境・水資源
- 自然生態系
- 自然災害・沿岸域
- 健康
- 産業・経済活動
- 国民生活・都市生活

国は2018年に気候変動適応法を制定しておりまして、同年12月に施行されています。この法律では都道府県、市町村などに、各地域における気候変動への適応策をまとめた「地域気候変動適応計画」の策定と「地域気候変動適応センター」の設置についての規定がされています。愛知県はこの法律の制定以前から、「あいち地球温暖化防止戦略2030」の第5章において適応策を規定していました。これを2019年2月にこの法律に基づく気候変動適応計画として位置付けています。また、同年3月には、本県における地域気候変動適応センターであります、「愛知県気候変動適応センター」を環境調査センターの企画情報部内に設置しています。2020年7月には、それまでの適応計画の内容を大幅に見直しまして、先ほどの地球温暖化防止戦略の別冊として「愛知県気候変動適応計画」を策定したところです。さらに、2020年12月には、地球温暖化防止戦略の改定とあわせまして、前年の国の適応計画の見直しをふまえて、愛知県気候変動適応計画の改定も行っています。この計画では、スライドの左下にありますように愛知県の気候変動適応推進方針を4点決めました。また、国の計画を参考に、気候変動影響をスライド右下のように7分野に整理しています。



**愛知県気候変動適応計画（影響と適応策）**

農業：気温上昇などによる農作物の品質低下が発生

**影響**

- 白未熟粒
- 品質低下
- 果樹の日焼け

**適応策**

- 高温耐性品種の開発（なつきらり）
- 高温耐性品種の開発（スプレーあいち）
- 高温対策技術の開発（ブドウ樹への高圧細霧ノズルによる散水）

次に、県の計画で紹介しています気候変動による影響と適応策の例を紹介させていただきます。まず、農業への影響についてです。気温上昇による農作物の品質低下がすでに発生しています。スライド左側のコメですけれども、デンプンの蓄積不良で米粒が白く濁る白未熟粒が発生しています。適応策としまして、県の農業試験場では高温耐性品種「なつきらり」を開発しています。この品種は、味や粘りについてはコシヒカリと同等となっていて、一定の基準を満たすものが「愛ひとつぶ」として販売されています。また、画面中央に示すキクについては、愛知県は全国出荷額1位ですけれども、高温の影響で葉の表面に黄斑点が発生してしまっていて、これに対する品種の開発や高温時の生産性を向上させる栽培技術の開発に取り組んでいくこととしています。一昨年の6月には県の農業総合試験場が夏の暑さに強いスプレー菊の新品種「スプレーあいち夏4号」等を開発したと記者発表しています。さらに、スライドの右側にあるブドウですけれども、果実の日焼けやその逆の着色不良といった高温障害に対して、霧状のノズルによる散水が活用されています。このような高温対策技術の概要をマニュアル化しているとのことです。



**愛知県気候変動適応計画（影響と適応策）**

自然生態系：野生鳥獣などの生息域拡大や分布域の縮小のおそれ

健康：気温上昇による熱中症のリスク増大のおそれ

**影響**

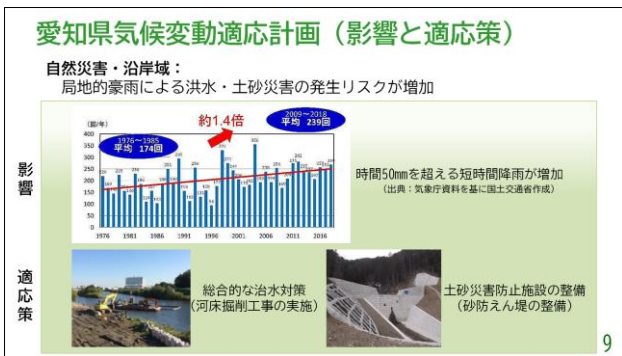
- 山間部に生息する二ホンジカの群れ
- 愛知県における熱中症（疑いを含む）による救急搬送者数及び猛暑日の推移

**適応策**

- 希少種保護の防護柵設置
- 熱中症予防啓発

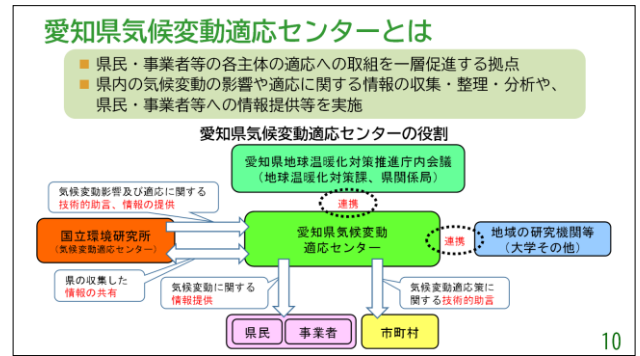
次に、自然生態系への影響です。気温上昇等により

野生鳥獣の生息域の拡大、それから植物の分布域の縮小の恐れが指摘されています。例として、気温上昇などにより山間部の積雪期間が短縮し、山間部に生息するニホンジカ等の生息域が拡大することで農林業や生態系の被害の増加が指摘されています。適応策のひとつとしまして、シカによる食害から希少種を保護するための防護柵などの設置に取り組んでいます。また、スライド右側の健康分野ですけれども、気温上昇により熱中症にかかる可能性が高くなることが予測されています。そこで、ポスターの掲示や Web ページなどで熱中症予防の普及啓発活動を実施しています。



自然災害の分野においては、局地的豪雨による洪水や土砂災害の発生の可能性が増大すると予測されています。グラフがありますが、こちらは 50 mm を超える短時間豪雨の発生回数を示したものでして、1976年～1985年の平均に比べ、2009年～2018年の平均をとると、1.4倍に増加しているということです。対策として、川幅を広げたり、地下貯留施設の整備など総合的な治水対策を進めたり、さらには砂防堰堤など土砂災害の防止施設の整備を進めたりしています。ここまで紹介させていただいた愛知県の適応策や具体的な取組みは、県の各部局で主体的に行っているところです。

## 愛知県気候変動適応センターの紹介



次に、私ども愛知県気候変動適応センターの業務についてご紹介させていただきます。県民、事業者の方など、各主体の適応への取り組みを一層促進する拠点として県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集や整理・分析、県民、事業者、市町村等への情報提供といったことを実施しています。

**県民・事業者等への情報提供**

愛知県気候変動適応センターだより

- 気候変動影響や適応などについて記事をまとめた刊行物
- 広く県民や事業者に向けて発行
- 愛知県気候変動適応センターWebページで、最新号及びバックナンバーを掲載

<https://www.pref.aichi.jp/site/aillccap/tekiou-davori.html>

情報提供の例のひとつとしまして、「愛知県気候変動適応センターだより」をご紹介させていただきます。気候変動の影響や適応などの情報を A4 判 1 枚の記事にまとめまして、県適応センターの設置以来、基本的に毎月発行しています。県の適応センターの Web ページにバックナンバー 1 年分を掲載していますので、ぜひお読みいただければと思います。

**県民・事業者等への情報提供**  
 普及啓発資材の作成

普及啓発パネル  
 紙製クリアファイル（※裏面に適応情報を記載）  
 分かりやすい気候変動適応普及啓発資材として作成したパネルや配布物を活用

また、県の適応センターでは、適応のわかりやすい普及啓発素材としてパネルや配布物を作成しています。右側の紙製クリアファイルは、ペンギンのイラストをあしらひ、裏側には気候変動の適応についての情報を掲載していますので、ぜひご活用いただければと思います。



作成しましたパネルや配布物については、県の主催する環境イベントやショッピングセンターのイベントブース等において配布したり、掲示したりして活用しております。



以上、簡単ではございますけれども、愛知県の適応センターの取組について説明をさせていただきました。ご清聴どうもありがとうございました。

### 【講演会】

緩和策と適応策 暑熱対策で求められること

「愛知県気候変動適応センターの取組」

主催：愛知県地球温暖化防止活動推進センター  
(一般社団法人環境創造研究センター)

共催：愛知県気候変動適応センター  
愛知県環境局地球温暖化対策課

後援：環境省中部環境パートナーシップオフィス  
(EPO 中部)

日時：2025年1月23日(木) 13:30~16:40

場所：ウインクあいち 13階 1302会議室